

売上高6500億円目標

設備投資2千億円 中核事業を強化

クラレ中期経営計画

化学メーカーのクラレ（本社東京、本店倉敷市酒津）は24日、2015年度（15年12月期）から3年間の中期経営計画を発表した。岡山事業所（岡山市南区海岸通）などで手掛けるビニルアセテート（酢酸ビニル）分野など中核事業を強化。国内外で計2千億円の設備投資を計画し、備前市に整備したりチウムイオン電池関連資材のプラントを増強する方針。

「二ロン長繊維」の製造により、13年度に55%の増産を達成した海外売上比率を大幅に効率化させた海外売上比率を、17年度には68%に引き上げる予定。内訳は北米、欧州、アジアが各22%など。

液晶ディスプレイの大型化に伴う需要増に対応。耐熱性樹脂のラインアップも増やし、欧米市場でのシェア拡大を図る。車部品などに使われる耐熱性樹脂のラインアップも増やし、欧米市場でのシェア拡大を図る。車部品などに使われる耐熱性樹脂のラインアップも増やし、欧米市場でのシェア拡大を図る。

繊維分野では、セメデユボン社との連携を密にし技術の改善や新商品の開発に取り組む。この日は新社長に就任予定（来年1月1日付）の伊藤正明取締役常務執行役員らが本社の増設を計画する。

のブレーキ商品開発に取り組む。この日は新社長に就任予定（来年1月1日付）の伊藤正明取締役常務執行役員らが本社の増設を計画する。

最終年度の17年度にの加工材など産業資材売上高6500億円として幅広い用途がある（14年度見込みは1年）るポバール樹脂は欧州、米国での販売を強化、営業利益900億円。6月に完了した米徳円（同540億円）化学大手・デュボン社からの事業買収や設備増強の効果を早期に出す。光学用フィルムは野のうち、接着剤や紙す。増強の効果を早期に出す。光学用フィルムは野のうち、接着剤や紙す。

会見する伊藤取締役常務執行役員（右）



「高収益体制を構築し、将来の売上高1兆円を目指す」と話した。（重成啓子）